

と示しになつて居るのであります。この文明の目的から考へて参ります時、

我が皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ、徳ヲ樹ツルコト深厚

と仰せられた中に、私は文明の目的が明かになつて居ると思ふのであります。是は言葉は簡でありますが、我が建國史を見ますれば日本は何を目的にして居るかといへば人類の文明を大成するのが日本の天職であります。「日の本」といふ事も「中の國」といふ事も、日本が國を建つる所以は、我が國民の爲ばかりではない、實に我が日本の國民は全部犠牲となつても世界の人類を救ふ程なる義侠心を有つて行かなければならぬのである。その意味は利己的なる國家主義でない、正義の理想を本とする國家であります。唯だむやみに犠牲になつてその國が潰れてしまつては、世界の文明に貢獻する事が出来ないから、國威國光を輝かすために他と戦ふ事もなり勢力を張る事もあつて人類の幸福を保障せんとするものであります。

この意味に於て教育勅語は世界的であり、文明の目的を明かにせられて居るものであつて、唯だ單に日本の國民を造る相對の道徳のみに止まるものではない。皇運扶翼の目的も唯だ世界と戦つて勝つといふ目的ではない、この皇室を戴いて世界萬邦に徳化を布くのであつて、佛教に所謂轉輪聖王の如き皇室であると理解して行かなければならぬと思ふ。

六、國家理想律

次には國家理想律でありまして、人間は個人の理想の自由を叫ぶのみでは事足らぬと思ふ。自らの發心に依つて、自らの理解に依つて、個人の小さな理想に引掛るやうな愚な態度は捨て、掛らなければならぬ。個人が一人て考へた位のことでは先人も能く考へて居る。而も一人や二人が考へたのぢやなくして建國以來練りに練つて進んだものが日本の理想となつて居る、所謂皇祖皇宗の遺訓にして子孫臣民の俱に遵守すべき